

こゝべワーク・ライフ・バランス推進事業【兵庫県神戸市】

地域の実情と課題

女性の就業率(平成27年国勢調査)については、神戸市が政令市中17位と低く、その要因のひとつとして、両立の困難さから、結婚や出産を機に離職する人の多さが挙げられている。

事業の特徴

- 「“女性のはたらき方”から生まれる、未来のはたらき方」について先進的な企業の取組み事例やワークショップを通じて参加者とともに考える。
- 市内大学と連携し、大学の授業の一環として企業の取組みを学生目線で情報発信。

事業の効果

- 就職を控える大学生のオンライン参加が多く、若者目線から必要な行動プランを考えることができ、多様な意見を取り入れられることができた。
- 受講した学生から女性活躍やワーク・ライフ・バランスに取り組む地元企業を知ることができて良かった等の声があり、高評価を得た。

目的・目標

- 上司層が男女ともに働きやすい職場づくりについて考える契機とする。
- ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍に取り組む企業の取組みを効果的に情報発信し、大学生への啓発や周知、及び地元企業への就職へ繋げる。

連携団体

神戸経済同友会、神戸商工会議所、兵庫県経営者協会、兵庫県

今後の課題

- 新たに生まれたネットワークを活かして施策を展開していく必要がある。
- 卒業後も神戸市の企業へ就職するよう働きかけを行っていく必要がある。

事業の概要

イクボス養成プロジェクト

1. 開催日時 令和2年11月19日(木)15時～17時
2. 実施方法 Zoomによるオンライン
3. 参加人数 38名
4. テーマ “働く”と“暮らす”のちょうど良い距離感とは？

【セミナーの様子】



「未来の働く空間」を共創しました。
自宅で職場にいるような環境で仕事ができます。



神戸市の取り組みも踏まえながら参加者と考えました。

こうべ男女いきいき事業所 大学生による情報発信

1. ゼミ・実習科目にて学生がインタビューし、魅力を発信



若者目線で作成した企業の紹介記事

2. 企業の取組みから働き方を考える



約3か月にわたり、共通教育科目において、企業が実際に抱える「働き方」に関する課題について、グループで情報収集・資料作成に取り組み、解決策を企業へ提案しました。

3. 企業の取組みを知る

企業(2企業)の取組み紹介と学生のディスカッションを共通教育科目と連携し、公開講座を開催しました。